

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	くらし環境課 上下水道課			電話番号	直通	989-5514 989-5524
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ					
政策	快適で便利なまちの実現			施策分野	環境	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	3,243,327 千円		今年度 予算額	3,847,183 千円	

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値 (R6)	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	町民1人1日当たりのごみ排出量	目標値	673	670	667	664	661	655	g	A
		実績値	669	658						
2	サステナブル住宅支援事業費補助金申請件数	目標値	—	—	575	665	755	935	件	A
		実績値	424	505						
3	温室効果ガス排出量	目標値	489,400	479,500	476,050	472,600	469,150	462,250	t	C
		実績値	501,200	490,100						
4	下水道整備率	目標値	67.0	68.0	68.0	68.5	69.0	70.0	%	B
		実績値	67.9	68.2						
					総合評価			B：順調		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	・町公式LINEと連携し、ごみの出し方便利帳やごみカレンダーの利便性向上を図った。またごみカレンダーを配付時期を1月に変更し住民の利便性向上を図った。 ・民間事業者と連携し、リユースプラットフォームを活用したごみの減量化及びリサイクルの活性化を図った。 ・地球温暖化対策としてアースキッズ事業などのソフト面、各種補助金事業によるハード面の両面から支援した。また温暖化に起因する熱中症対策としてクーリングシェルター事業を推進した。 ・下水道未整備区域の整備推進、既整備区域の排水設備への接続促進、下水道施設の適切な維持管理の実施
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・国は温室効果ガス排出削減目標を2030年度に2013年度比で46%減、2050年度にカーボンニュートラルとしており、昨年度策定したロードマップを活用したゼロカーボンシティ宣言を予定している。 ・剪定枝の排出や食品ロスが多いことから、ごみの排出量削減に向け、昨年度開始した配付事業の強化並びに食品ロス対策が必要である。 ・国は住宅の省エネ化を義務づけし、今後は創エネの強化を進めており、町としても更なる推進が必要な状況にある。 ・人口減少に伴うごみ量の減少、施設能力の余剰に伴う非効率な運営等の課題を抱え、今後のあり方について検討が必要である。 ・町の温室効果ガスは約7割を産業系が占めているため、企業に向けた更なる事業推進が必要である。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・ごみの減量や再資源化の促進に向け4Rの取り組みを強化しながら、産業廃棄物の排除、収集事業者が回収時に行う現況把握調査、焼却場への持ち込み事業者への廃棄物調査及びそれに基づく指導などを継続する。 ・剪定枝配付事業にあたり、配付量の増加を目指し需要者の要望に沿った対応を進める。また食品ロス削減に向け健康増進課が実施する食育講座との連携や各種団体の取り組みを強化していく。 ・住宅の創エネ化を促進するための補助事業の見直しを図る。 ・ごみ排出量の抑制に向け、出前講座等による啓発を図りながら、民間ボランティア団体や企業との協働を促進する。 ・一般廃棄物処理施設の効率的な運営に向け、他市町との連携も見据えた対応を図っていく。